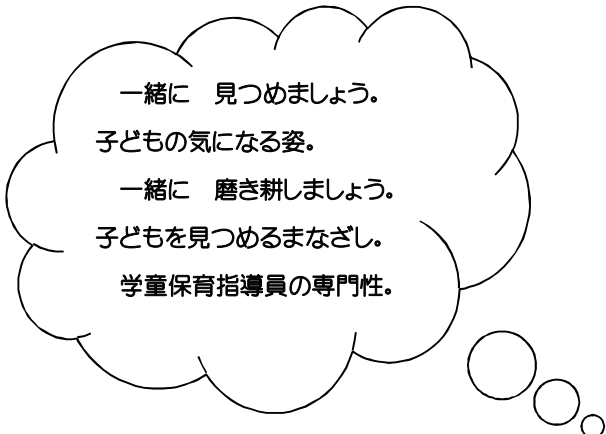


分科会「保育カンファレンス」

講師: 森崎 照子 (学童保育カンファレンスルーム代表/あいち保育研究所)

報告者: 調整中

世話人: 根岸 民恵 (名古屋市中村区学童保育指導員)



学童保育に、日々「ただいま」と帰ってくる子どもは、今を生きています。そこで、学童保育指導員は「おかえりなさい」と子どもの命(心と体)を受け止め生存権を保障します。また、学校の規制から解放された子どもは、家でも学校でも見せない素の姿を見せるため、子どもと共に生活を創る指導員は、生身の子どもの姿をとらえ、瞬時に判断し必要な働きかけをして発達権・学習権を保障します。

この時、子どもをどうとらえるかによって働きかけが左右される為、ここに専門性が求められ、学童保育指導員の仕事には保育者としてのまなざしを磨き耕す活動が不可欠となります。

「学童保育カンファレンス」は、そんな学童保育指導員の仕事の必要性から生まれ、「子どもの最善の利益の保障」を目指して、学童保育指導員集団の共同で実践しながら深められてきました。

この分科会では、「学童保育カンファレンス」を学童保育指導員のチームワークの要にすることを願い、

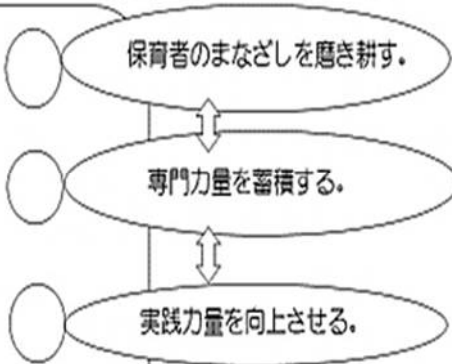
- ① 理論としての「学童保育カンファレンス」とその重要性について学び、
- ② 実際に「学童保育カンファレンス」を参加者みんなで体験し、学び合います。

＜タイムスケジュール＞	
13:00	・ 講師からの話 「学童保育カンファレンス」
	・ 報告者から 子どもの姿の報告
14:15	～休憩～
14:25	・ 保育カンファレンス実践 ・ 感想の共有
16:05	・ アンケート記入
16:15	終了・片づけ

学童保育カンファレンスとは

子どもの気になる言動の奥の「そうする訳(発達課題・発達要求等)」を学童保育指導員集団の共同探索で導き出し、子どもに即した働きかけの方針を見出して、子どもの最善の利益の保障を目指すもの。

熟練しつつ育む専門力量



カンファレンス (conference)とは、一般的には会議や会合と言う意味であるが、医療や看護の分野では、職員間で患者についての情報を共有し、課題を検討し、治療や看護の方針を見出す会議と理解されてきた。  
 拙著『磨き耕す保育者のまなざしー学童保育カンファレンス』P144 解説文 石原剛志(静岡大学)「保育者が保育者であるために」より(かもがわ出版)

図一 森崎照子作成